



☆諏訪市児童センターで化学部、わくわくサイエンス開催☆

《地域へ向けての活動》化学部の1, 2年生の諸君（SSH講座の生徒含む）が、夏期休業中の8月3日に諏訪市児童センターで「わくわくサイエンス」講座を地域の児童生徒に向けて実施しました。子供たちが興味関心を引き出すよう創意工夫した実験を実施してきました。下は、諏訪市児童センターが諏訪市民に向けて配布している児童センター便り「陽だまり」（平成25年8月号、第178号）の記事です。

みんな、化学部に入ろう！

～諏訪清陵高校化学部による
わくわくサイエンス～

8月3日(土)に行われた『わくわくサイエンス』。化学部員のみなさんに見せていただいた実験は、液体の色が変わる「信号フラスコ」、泡が吹き出る「象のはみがき」、「金色に変わる銅」などのどれも不思議なものばかり。中でも釘付けになった実験は…



薬品の入ったお皿ひとつひとつに火をつけていくと、それぞれ緑・赤・紫・青の炎が上がります。「花火と同じ仕組みになっているんだよ」との説明に、参加者は興味津々。最後に「全部混ぜて！」という要望に応え、全部の薬品を混ぜて火をつけると……炎の色が虹色に変化したのです！「オーロラだ！」「それ欲しい！」叫ぶ小学生たちに化学部員が一言…「欲しい人は清陵高校に入って、そして化学部に入ってください」と、さりげなく化学部をアピールしていました。

参加した子どもたちも、地域の方の持つ特技にふれ、新しい世界を体験できたのではないのでしょうか。

**化学部のみなさん、
貴重な体験をありがとうございました！**



白衣姿がかっこいい
化学部の皆さん



スライム作りましたよ！

☆長野県クリーンレイク諏訪で研究発表☆



諏訪湖流域下水道豊田終末処理場（クリーンレイク諏訪）で9月8日(日)“よみがえれ 諏訪湖ふれあいまつり 2013”が行われました。朝から激しい雨でしたが、大勢の市民の皆さんが親子連れで来ていました。本校生物部も参加させていただき「諏訪湖のプランクトン」というタイトルで発表しました。

「諏訪湖では珪藻という植物プランクトンが春と秋の二度急増し、夏は藍藻に切り替わる」、「昨年度までは夏の藍藻が少なく、春夏の珪藻が目立ったが、今年の夏は藍藻（アオコ）の個体数が多かった」また、「春秋の珪藻の急増は諏訪湖の湖水の循環によって、栄養塩類が湖底から供給されることが原因ではないか」、「夏は表層と下層に温度差が生じて、栄養塩の供給が止まるので珪藻は減少するが、藍藻はそのような状況でも増殖して夏は優占するのでは」、「藍藻は多すぎると死骸が沈んでヘドロの原因や湖の貧酸素状況の原因になっているのではないかと報告しました。